



2025 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長執行役員CEO 山内 一裕
(コード：3202 東証スタンダード・名証プレミア)
問 合 せ 先 理事 経営管理本部 岡田 吉史
ディスクロージャー推進部長
(TEL 03-6262-6565)

2026 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026 年 3 月期第 2 四半期累計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の連結業績予想（2025 年 5 月 8 日付公表）と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績との差異

（1）2026 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績との差異
（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2,180	180	70	40	1.33
今 回 実 績 (B)	1,919	132	36	31	1.06
増 減 額 (B－A)	△260	△47	△33	△8	
増 減 率 (%)	△11.9	△26.3	△48.1	△20.4	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	2,000	171	73	38	1.28

（2）差異の理由

売上高において、記録的な猛暑が長引いたこともあり、市況回復を見込んでいたヘルスケア事業で、受注が伸び悩んだことが主要因であり、加えて、ヘルスケア事業やせんい事業で受注分の納期が下期へずれ込んだことも響き、売上高は業績予想を下回りました。

損益面では、販売管理費の削減があったものの、売上高の減少による売上総利益の減少および、商業施設事業における空調機などの計画外の修繕コスト負担増が響き、営業利益は業績予想を 47 百万円下回りました。経常利益は受取配当金の増加や支払利息が計画を下回ったこともあり、業績予想を 33 百万円下回り、法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は業績予想を 8 百万円下回るに留まりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、市況改善に伴う業績向上を見込んでおり、現段階では前回の公表数値を据え置くことといたします。

以上